

敦賀セメント（株）に対し、 「DBJ 環境格付」に基づく融資を実施 —8年連続の環境格付取得—

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、敦賀セメント株式会社（本社：福井県敦賀市、代表取締役社長：藤本朋二、以下「当社」という。）に対し、8年連続となる「DBJ 環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

この「DBJ 環境格付」融資では、業界動向等を踏まえ、評価基準を毎年見直しているため、連続取得には企業の継続的かつ先進的な取り組みが必要であり、8年連続の取得は、北陸地域においては当社が唯一です。

当社は、1935年創業のセメントメーカーです。「地球にやさしく環境に調和した事業活動を実践し、循環型社会の実現に貢献していく」との経営基本方針の実現に向けて、ISO14001の取得をはじめ、原燃料の代替品として他産業の廃棄物・副産物の活用拡大等を通じ、社会全体の再資源化および省資源化推進等の本業一体型の環境経営に積極的に取り組んでいます。

今回の格付では、以下の点を、地域社会と共生しながら、事業活動に伴う社会的責任を果たそうとする当社姿勢の現れとして高く評価しました。

- (1) セメント 1t 当たりの廃棄物・副産物使用量拡大に向けた中長期目標を設定し、隣接する火力発電所とのコンビナート形成による石炭灰の受入を推進する等、多種多様な廃棄物を受け入れることにより、利用率を着実に向上させている点
- (2) 廃棄物処理技術を原燃料拡大に向けて利用するのみならず、他社と共同でリチウムイオン電池のリサイクルやバイオガスを活用した水素製造等の開発を積極的に行い、新たな資源循環モデル構築に取り組んでいる点
- (3) 全社横断的な「あるべき姿ワーキングチーム」を発足させ、自社の持続的な成長に向けた 2030 年のあるべき姿と目標・方策の議論に着手している点

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

北陸支店 業務課 電話番号 076-221-9873